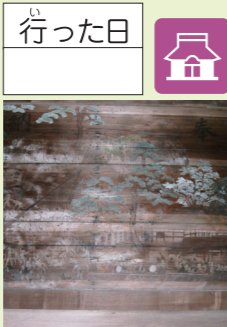


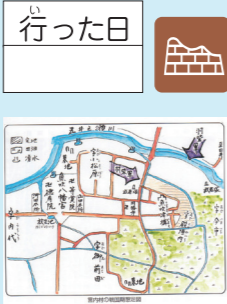
いなりじんしゃ ついちば
稲荷神社(津市場)

拝殿には元治2年(1865)「稲荷神社祭礼図」という絵馬があり、江戸時代に盛大に行われていた火揚げ(柱松)の様子が描かれています。昔、火揚げは、稲荷河原とよんでいた神社西側の津市場西公園で、戦前まで行われていました。



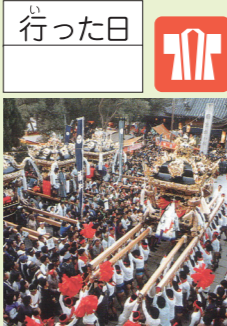
うすき かまえ
魚吹の構

東西約150m、南北約189mの範囲で、扇形の地形を囲むように掘の跡と「門の口」「番屋口」などの地名が残っています。室町時代中ごろの「蔗軒日録」という本に、「播州の英賀、福井の中の津の宮城」とあり、15世紀末にはお城が築かれています。



うすき はちまんじんしゃ しゅうきれいさい
魚吹八幡神社の秋季例祭

毎年10月21-22日に行われるお祭り、宵宮は竹ざおの先に高張提燈を付けた「お旅提燈」の打ち合いや練り合いがあります。本宮は境内で獅子舞、楼門前で壇尻芸などが演じられ、「チョーサ」のかけ声で行う屋台練りや、壇尻の綱練りは勇ましいものです。



うすき はちまんじんしゃ ろうもん
魚吹八幡神社の楼門

棟札や瓦に彫られた文字から、貞享3年(1686)に建てられたと考えられます。三間一戸の入母屋造で、規模が大きく、細かい部分もよくつくられています。県の文化財に指定されています。



さかてい いせき ぬまたかだ いせき
坂出遺跡(沼・高田遺跡)

昔は沼・高田遺跡とよばれていた遺跡で、石器や縄文土器・弥生土器が発見されました。竪穴住居があったと確認されています。現在は、遺跡の範囲が北と東に広がっていることが分かり、坂出遺跡とよばれています。



調べたこと、
わかったことを
書いてみよう!



-  遺跡・史跡、歴史上の名所
-  伝統芸能など
-  神社・仏閣、歴史的建造物
-  景勝
-  歴史上の人物など
-  生物・花
-  祭り、伝統行事
-  町並み
-  美術品
-  etc その他

0m 250m 500m

きょくようちく
40 旭陽地区



旭陽地区には、遺跡がたくさんありますね。遺跡の大きさや発見されたものから、昔の人がどんな生活をしていたのか、調べてみましょう。



せいとくじ もんがくじ
盛徳寺(文覚寺)

応保2年(1162)文覚上人が開いたといわれ、通称文覚寺とよばれています。上人が亡くなった後は廃止されましたが、元禄年間に蒙山祖印禅師が引き継ぎ、お寺の名を盛徳寺と変えました。その後、再び廃止されましたが、明治29年(1896)にまた開かれました。



つのと せきぎつ
角戸の石仏

鎌倉時代初めごろのものといわれる3体の石仏です。花崗岩という種類の岩に、座った姿が彫られています。2体は阿彌陀像ですが、もう1体は分かりません。文覚上人を頼つてこの場所に来た角戸三郎を供養するためにつくられたといわれています。



とくじゅいん
徳寿院

真言宗高野山平等院の系列のお寺で、いつつくられたかはっきりしません。もとは魚吹八幡神社の事務を行うお寺として境内の北西に建てられていました。本堂は18世紀前半に建てられたもので、内部に僧形八幡菩薩などがまつられています。



ふね いわ
船つなぎ岩

神功皇后がこの大岩に船をつないだといわれています。神功皇后は伝説上の人物ですが、このあたりには神功皇后に関係する言い伝えが多く残っています。



わくいせき
和久遺跡

弥生時代後期から古墳時代初めの集落遺跡です。これまでの発掘調査で100棟あまりの竪穴住居跡、土坑や溝などが発見されました。たけのこやいも、ほっぺん、しゅうまんと大量の弥生土器も発見されました。住居跡からは銅でできたやじりや水色をしたガラス製の勾玉も発見されました。

